

丹沢ボラネット瓦版

2025年9月号 No.123



照が崎海岸のアオバト

「大磯のアオバトと丹沢」（町田グラウス山の会 森島 眞知子）

7月末、大磯の海岸にやって来るアオバトを見に行った。アオバトは全体が緑色の羽色の中型のハトで、全国の広葉樹林で繁殖しているが、毎年5月から10月頃までの早朝と夕方、大磯の照が崎海岸に集団で飛来することが知られている。全体がオリーブ色のメス、肩がブドウ色のオス、今年生まれたヒナもいる。群れを作って岩礁の上を飛び回り、波が打ち寄せる岩場に降りる。そして岩場の窪みに溜まった海水に青色のくちばしを浸けて、吸い込むように飲む。その理由は、アオバトの主食である果実（サクラ、ミズキ、ヤマブドウなど）には、カリウムが多く含まれているがナトリウム分がほとんど含まれていないので、海水を飲むことで体内のカリウムとナトリウムのバランスをとり、果実からの栄養分や水分を体に吸収しやすくするためではないかと言われている。

ではその果実はどこで調達しているのか？照が崎海岸でアオバトの糞を採取し、中に含まれている種子植物の種類を調べたところ、この周辺では丹沢の標高1000m以上にしか分布しないミヤマザクラの種子が多かった。ミヤマザクラは他のサクラ類より遅い5~6月頃、総状の花序に上向きに花をつけ、夏に赤黒い実（サクランボ）に熟す。このことからアオバトは大磯の海岸から20~30km離れた丹沢山地から飛んできていることが証明され、繁殖も丹沢山地で行われていることが分かったという。

照が崎海岸は、アオバトの集団海水吸飲飛来地として、神奈川県天然記念物に指定されている。一方、冬になるとアオバトたちは西日本に移動し、主にアラカシやシラカシ、ブナなどの実（ドングリ）を食べる姿が、京都御苑などで見られるという。



アオバト



ミヤマザクラ



令和7年度水質調査の報告

報告者 丹沢大山ボランティアネットワーク世話人会

結果概要

- 調査か所数 22 か所
(うち6か所は断水・水道装置故障等のため採水できず、中止)
 - 一般細菌検出箇所 1 か所
犬越路ずい道水場
 - 大腸菌検出箇所 7 か所
堂平沢、後沢乗越水場、二俣の水場、大倉高原山の家水場、用木沢出合、一軒屋避難小屋前水場、犬越路ずい道水場
- ※ 上記の一般細菌や大腸菌が検出された水場はもちろん飲用に適しません
が、一般細菌や大腸菌が検出されなかった水場についても、必ず煮沸等を行ってから利用してください。

丹沢大山水質調査とは

「丹沢大山水質調査」は2004年度頃から実施され始め、当初は丹沢大山総合調査の一環として行われていました。その後、丹沢大山ボランティアネットワークが引き継ぎ、現在は丹沢大山ボランティアネットワークが「丹沢の緑を育む集い実行委員会」との共催として事業を継続しています。

調査場所は、丹沢を訪れる人が比較的に利用する可能性がある水場22か所を選んでいますが、そのうち6か所は今年度、断水・水道装置故障等により採水できず実施していません。

今回の水質調査には、以下の丹沢大山ボランティアネットワーク参加団体の皆様に取り組んでいただきました。お忙しい中調査にご協力いただき、ありがとうございました。

- ・ 丹沢自然保護協会
- ・ 伊勢原森林里山研究会
- ・ 野生動物救護の会
- ・ 四十八瀬川自然村
- ・ 丹沢自然学校
- ・ 神奈川県勤労者山岳連盟

調査項目・検出基準

我々が普段から口にしている水道水には、水質基準を定める水道法という法律があり、水質検査として51の項目が規定されており、その中でも「給水施設内で汚染の進むおそれがある項目」として11の省略不可項目が定められています。

今回、採水・検査した湧水などは給水施設ではありませんが、それに準ずるものとして、厚労省の水質基準項目・基準値を参考にして調査を実施しました。以下に水質検査11項目の概要を説明します。

① 一般細菌（基準値；100CFU/ml以下）

一般細菌という名前の細菌があるわけではなく、いわゆる雑菌のことで、河川や土壌、空気中や体内などに広く存在し、病原性のないものがほとんどです。しかし汚染された水ほど一般細菌が多く含まれるため、水の汚染状況を知る目安になります。

CFU/mlという単位は、1mlの試料を培地で培養した結果、出来た集団数（Colony Forming Unit）を表します。

② 大腸菌（基準値；検出されない）

大腸菌は人や動物の腸内に存在する菌で、ほとんど無害ですが、中には病原性を持つものもあり、人や動物の排泄物や土壌生物による汚染の指標となるものなので「検出されない」ことが水質基準として定められています。

③ 亜硝酸態窒素（基準値；0.04mg/l以下）

これは土壌中の肥料の窒素分や植物体内のたんぱく質に含まれる窒素分が変化したもので、メトヘモグロビン血症などの健康リスクを引き起こす可能性があります。

④ 硝酸態窒素および亜硝酸態窒素（基準値；10mg/l以下）

水中に溶けている硝酸態窒素と亜硝酸態窒素を合計して検査しています。硝酸態窒素は様々なところに広く存在していますが、生活排水の混入などにより基準値をこえるとメトヘモグロビン血症につながることもあるので注意が必要です。

⑤ 塩化物イオン（基準値；200mg/l以下）

水中に溶けている塩化物の量を示したもので、海水中の塩分と同様のものです。海が近い場合やし尿が混入した場合に高濃度に検出される場合があります。

⑥ 有機物[全有機炭素(TOC)]の量（基準値；3mg/l以下）

水中の有機物を構成している炭素の量を表したもので、藻などの微生物繁殖、汚物混入などが原因となり、水に有機物が多く混入すると水質は悪化します。

⑦ pH値（基準値；5.8以上8.6以下）

水が酸性かアルカリ性かを示す数値で、水質の変化を評価する際に重要です。

⑧ 味（基準値；異常でないこと）

⑨ 臭気（基準値；異常でないこと）

人の味覚と嗅覚で感知できる、味と臭気を検査したものです。異味異臭があるという事は、水の異常を知る危険信号になります。

⑩ 色度（基準値；5度以下）

水の黄褐色の着色度合いを調べる検査で、有機物による懸濁や、鉄・マンガンなどの金属が多く含まれることによって、値が高くなります。

⑪ 濁度（基準値；2度以下）

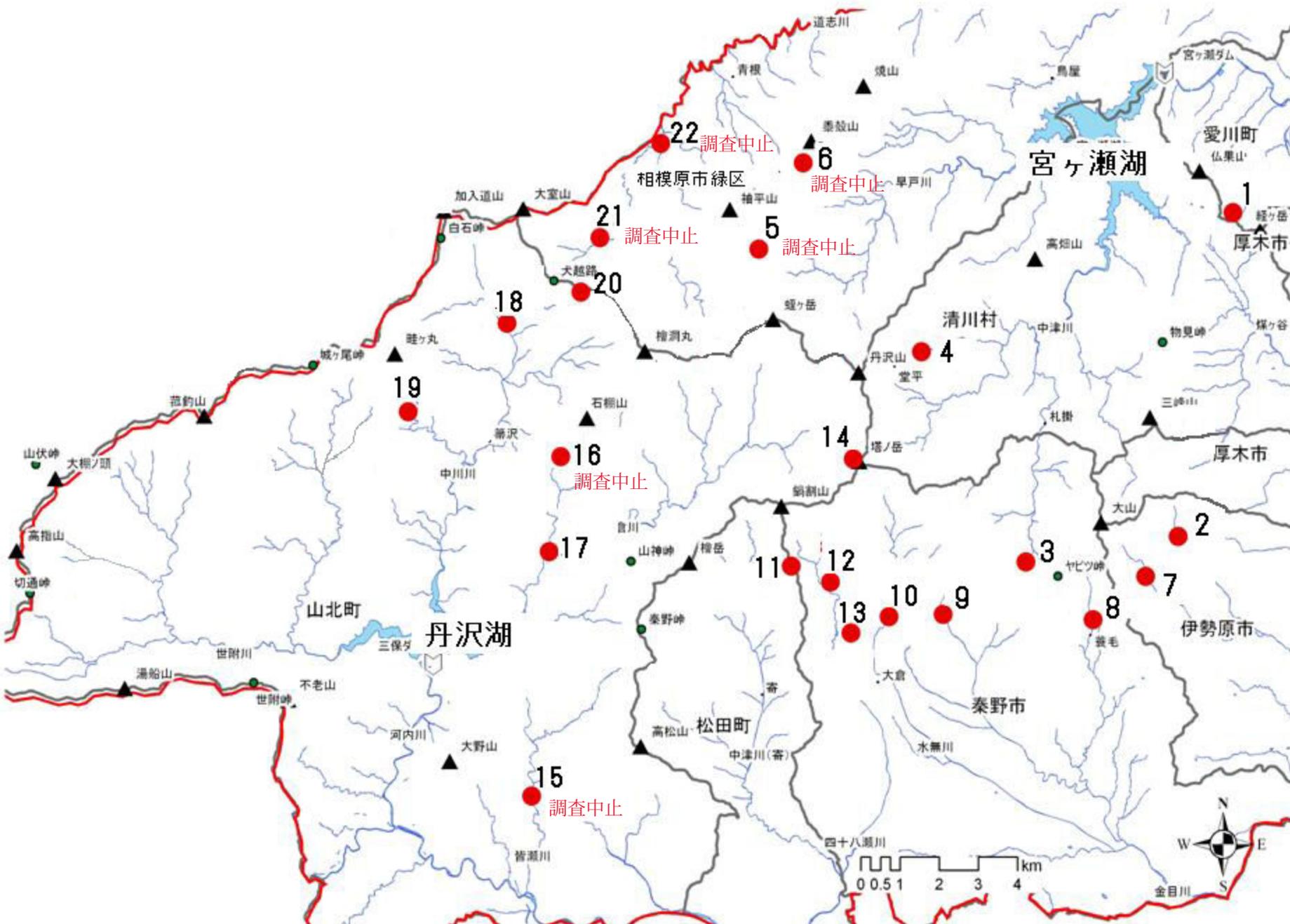
水の濁りの度合いを調べる検査で、水の濁りはその原因物質によって性状が異なります。大きく分けると、褐色（鉄由来）、黒（マンガン由来）、白（亜鉛由来あるいは空気の混入）などの色に濁ります。

令和7年度水質調査結果一覧 <上段:検査項目 中段:単位 下段:水質基準(参考)>

調査地点	採水日	硝酸態窒素及 亜硝酸態窒素											水場周辺の状況				気象の状況			
		一般細菌	大腸菌	亜硝酸態窒素	硝酸態窒素	塩化物イオン	有機物	pH値	味	臭気	色度	濁度	ゴミ散乱	野外排泄	トイレ	水場種類	天候 当日	天候 前日	気温 ℃	水温 ℃
		CFU/ml	-	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	-	-	-	度	度								
1 半原越付近	5月28日	0	不検出	0.004未満	0.7	1.9	0.3未満	7.9	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	晴	曇	22	14
2 日向林道起点水場	5月3日	0	不検出	0.004未満	0.6	1.8	0.3未満	7.1	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	流水	晴	雨	14	13
3 護摩屋敷跡	5月21日	0	不検出	0.004未満	0.5	1.4	0.3未満	8	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	晴	晴	22	13
4 堂平沢	5月21日	46	検出	0.004未満	0.1	1.0	0.3未満	8.3	-	正常	2	0.5未満	なし	なし	なし	流水	晴	晴	20	14
5 原小屋平水場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 黍殻山避難小屋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7 大山 弘法の水場	5月23日	2	不検出	0.004未満	0.5	1.8	0.3未満	7.9	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	晴	曇	17	13
8 春嶽湧水	5月23日	0	不検出	0.004未満	0.5	1.7	0.3未満	7.9	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	晴	曇	19	14
9 葛葉の泉	4月25日	0	不検出	0.004未満	0.5	1.8	0.3未満	7.2	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	あり、約20m 下流	湧水	晴	晴	25	16
10 竜神の泉	4月25日	0	不検出	0.004未満	0.6	1.6	0.3未満	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	晴	晴	25	16
11 後沢乗越水場	5月24日	10	検出	0.004未満	0.2	1.1	0.3未満	8.2	-	正常	1未満	1	なし	なし	なし	湧水	曇	曇	16	13
12 二俣の水場	5月24日	66	検出	0.004未満	0.3	1.0	0.3未満	8.1	-	正常	1未満	1	なし	なし	なし	沢水	曇	曇	16	13
13 大倉高原山の家水場	6月7日	35	検出	0.004未満	0.4	1.4	0.7	7.4	-	正常	1	0.5未満	なし	なし	なし	沢水	曇	曇	23	18
14 塔ノ岳水場	6月7日	0	不検出	0.004未満	0.1未満	0.8	0.3未満	7.4	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	晴	曇	25	11
15 皆瀬川人遠	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16 西丹沢県民の森	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17 仲ノ沢法面湧水	5月18日	0	不検出	0.004未満	0.5	1.1	0.3未満	8.1	正常	正常	1未満	0.5未満	落ち葉等	なし	なし	湧水、法面 にパイプ	曇	雨	22	14
18 用木沢出合	6月5日	63	検出	0.004未満	0.3	0.7	0.5	7.7	-	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	流水	晴	晴	26	12
19 一軒屋避難小屋前水場	6月5日	44	検出	0.004未満	0.2	0.6	0.6	7.7	-	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	流水	晴	晴	25	12
20 犬越路ぎい道水場	5月20日	115	検出	0.004未満	0.1	0.9	0.3未満	7.9	-	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水、塩 ビパイプ	晴	曇	26	12
21 犬越路 日陰沢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22 エビラ沢出合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※大腸菌等が検出された箇所は、味の検査は不可

No5、6、15、16、21、22…断水、水道装置故障等のため採水できず



水質調査の結果と考察

- 今回の調査で、一般細菌が基準値（100CFU/ml）を超えて検出された箇所が1か所ありました。
 - 20. 犬越路ずい道水場 …115CFU/ml
 - ※ 昨年も基準値以下でしたが検出されましたこの他に、基準値以下ですが一般細菌が検出された箇所が5か所ありました。
 - 4. 堂平沢 …46CFU/ml
 - 12. 二俣の水場 …66CFU/ml
 - 13. 大倉高原山の家水場 …35CFU/ml
 - 18. 用木沢出合 …63CFU/ml
 - 19. 一軒家避難小屋前水場 …44CFU/mlこれらは今後の変化にも注意が必要です。

- また、大腸菌が検出されたところは7か所でした。
 - 4. 堂平沢 11. 後沢乗越水場 12. 二俣の水場 13. 大倉高原山の家
 - 18. 用木沢出合 19. 一軒家避難小屋前水場 20. 犬越路ずい道水場この中で、4. 11. 12. 18. 19 では昨年度も大腸菌が検出されています。

- 以上の結果を見ると、一般細菌の検出箇所と大腸菌の検出箇所は、かなり共通していることが分かります。つまり、一般細菌は病原性のないものが多いとはいえ、水の汚染状況の指標となると同時に、大腸菌による汚染状況の指標にもなっているということです。

- そのほかの検査項目については、どこも基準値の範囲内でした。

- 水場の水質は、季節やその年の気候、人の動き、山の植生の状態、野生動物の生息動向などに大きく左右されて変化すると思われるので、数値の変動に一喜一憂するのではなく、継続的に調査を行うとともに、**水質を悪化させる要因を減らす努力を継続する必要があります**。野生動物は先住者ですから、その行動を制御することは難しいですが、山に入らせていただく登山者、ハイカーは、少なくとも登山口でトイレを済ませる、山中では携帯トイレを使用するなどのルールを守りたいものです。

- **丹沢で沢水や湧き水をそのまま飲むことは、絶対にしてはいけません！**

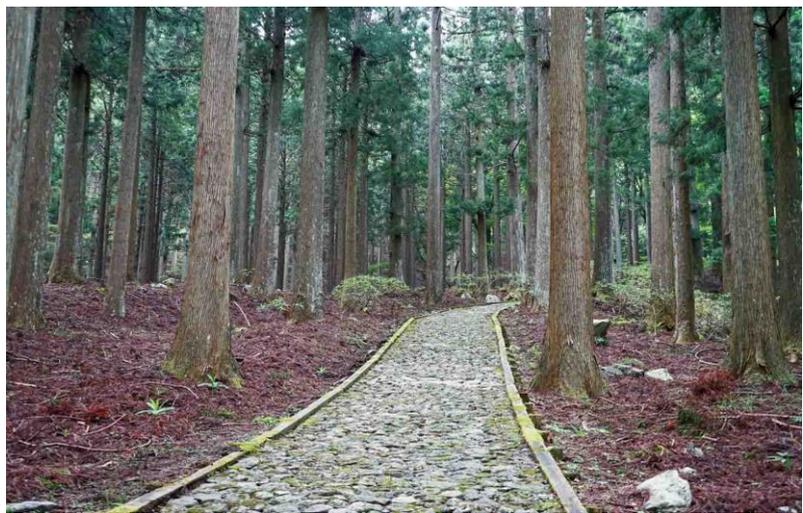
どんなに冷たく美味しそうに見えても、大変危険です。ほんのわずかでも一般細菌が含まれている水を持ち帰り常温に置けば、細菌は急激に増殖します。また冷蔵庫に入れても、時間が経てば増殖します。**沢水・湧き水は必ず煮沸してから飲んでください。**

丹沢大山ポラネット加盟団体からの投稿

令和7年度 水質調査の様子（NPO法人丹沢自然学校）



かながわ美林50選（2016.5.16）



西丹沢県民の森（2016.5.16）

NPO 法人丹沢自然学校は5月18日（日）ポラネットの水質調査採水活動に参加をしました

担当場所は調査番号16 西丹沢県民の森と調査番号17 仲ノ沢法面湧水の2カ所です。

残念ながら16 西丹沢県民の森は台風等の被害により水道施設が故障のため採水が出来ないので中止しました。

○ 西丹沢県民の森のご案内

（玄倉林道→仲ノ沢林道分岐（小川谷出合）→西丹沢県民の森（約徒歩1時間10分））

西丹沢県民の森の水道施設周辺の様子（2016.5.16）

柵内にはヤマツツジ赤色が目立ちました。



- ① 西丹沢県民の森は平成元年神奈川美林 50 選に指定されました。
- ② 西丹沢県民の森には大正の森が含まれているので別名大正の森とも言います。



大正の森説明文 (2013. 5. 30)

<大正の森の説明文の要約>

このスギの森は大正4年(1915年)に植えられたもので、面積は15ha程あります。

長さ四十cmくらいの小さな苗木を下流の村から、馬の背や人の肩によって運ばれ、一本ずつ植えられたものです。現在に至るまで雨や風の自然の試練の前にも負けず元気に育ち人工の美しい森となりました。

大正12年の関東大震災には、周りの山は皆、削り落ちたと言われているがこの森は残りました。

木材の生産だけではなく土砂の流出の防止、水源の確保や人の保健に役立っています。

大正時代の人々のご苦勞を忍び、自然が息づく県民の大きな財産として子や孫に引き継いで行くのが、この森の使命です。

○ 仲ノ沢法面湧水水質調査(採水)の様子

(玄倉林道→仲ノ沢林道入り口ゲート(小川谷出会)→立間大橋→レッコの水→仲ノ沢法面湧水(約50分))

玄倉林道入り口から30分歩くと仲ノ沢林道入り口へ到着します。川の方へ下るとすぐに立間大橋が見えます。橋の名前は汚れているので見えないです。

この橋からの小川谷の渓谷、風景は見応えがあります。典型的な西丹沢らしい景観です。コバルトブルー、清流、トータル岩深い峻しい渓谷、豊かな緑が体感できます。



西丹沢県民の森指示板と仲ノ沢林道入り口ゲート(鎖)



橋上から見た小川谷渓谷(トータル岩が目立つ)



立間大橋

立間大橋から5分位歩くと、林道脇から多量の湧水がこんこんと流れ出る場所がありました。「レッコの水」と呼んでいます。

湧水が多い時期は林道へ流れ出ていた時期もあります。仲ノ沢の法面湧水より自然なままなので登山者等の訪問者を引きつけます。



「レッコの水」の湧水



イワタバコとシダの仲間



仲ノ沢林道に流れている湧水 (2012. 6. 7)

西丹沢県民の森まで、車が入れる頃は水くみが目的の人で賑わっていました。又湿地を好むイワタバコやシダやコケ等が見られ、植物観察にも良いコースです。

「レッコの水」から5分~6分歩くと仲ノ沢法面湧水へ到着します。ビニールパイプから湧水が勢いよく出ています。ただ簡単な小さな施設なので会話しながら歩いていると見落としがちです。



無事採水が完了

仲ノ沢林道法面湧水の様子

ボランティアで協力参加ありがとうございます